

## 和歌山県・印南町立 稲原中学校

## 全校で共に働き、地域にふるまう

餅米・野菜づくりを通してのふるさと体験・総合学習



子ども、教師、地域の信頼関係を深めようと、3年前から始まった農業体験学習。収穫した餅米で6000個の餅をつくり地域にふるまうことなどを通して、生徒たちは地域の一員としての誇りを実感するようになりました。またグループで好きな野菜を育て、それぞれで直売所に並べるなど、生徒の主体性を重んじているのも特徴です。

## データ

印南町立稲原中学校  
和歌山県日高郡印南町印南原1743  
☎0738-44-0007  
生徒数：49名（各学年1クラス）  
田・畑の場所：学校のすぐ隣の農地20アールを借用  
授業としての取り組み：30時間  
取り組み担当：田端久夫教諭

## ● 餅米づくり



## 6月 全校での田植え

5月に初蒔きをして育てた苗を、保護者に手伝ってもらい、植えていく



## 11月 脱穀(稲はち)

おじいちゃんからハーベスターの使い方を教わる女子生徒



## 9月 稲刈り 手作業での稲刈りは、けっこう大変だった

## ● 野菜づくり



## 5月 夏野菜の植え付け

それぞれが育てたい野菜を植えた



## 冬期 冬野菜の収穫前

ハクサイは、これから巻いていく

## 【地域特性と取り組みの意義】

中学校のすぐ横に借りた田んぼでつくっているのは、すべて餅米。JAみなべいなみの営農指導員に教えてもらいながら、もみ蒔き、育苗、田植え、稲刈り、脱穀と1年間みっちり取り組んだ。ここでは教師も生徒もなく、共に働き共に収穫を分かち合う仲間として、互いへの信頼感が深まった。

その横の畑では、小グループで好きな夏野菜、冬野菜を育てた。育て方は、各自が家族や近所の方に聞いたり調べたりし、肥料やマルチ等わからないなりに工夫。授業での取組み時間は限られているが、やはり自分の野菜は気になる。各自で朝夕の通学時に熱心に観察や草取りを行った。

収穫も各自にまかされ、給食で食べたり学校前の無人スタンドに並べたり、持ち帰って家族に食べてもらったり。この自主性の尊重、大人との関係が、中学生の誇りとやる気を引き出したのでは、と校長先生。

ほとんどの家庭が兼業農家。野菜づくりは祖父母がしており、この農業学習が身近な家族、地域での世代交流につながった。

「実際に自分が野菜の世話をして、収穫できた時に、おばあちゃんが毎日畑に行っている理由が分かりました。おばあちゃんは心をこめて大切に育てたたくさんの野菜を『おいしい』と言って、私たち家族はもちろん、他の人に喜んで食べてもらうことがうれしいからだと思いました」（2年生女子の作文より）

餅米から6000個の餅をまるめて、地域にふるまう



つきかたのコツを教わる



とにかくどんどん丸めていく



稲原中の文化祭は、とれた野菜を売る、前日の餅つき大会でついたお餅を組み立てたやぐらからまくなど、まさに「食べる!! 餅まき文化祭」です(生徒のつくった壁新聞より)

【餅米でのお餅づくり】

12月の文化祭の前日は、老人会、保護者も参加しての恒例の餅つき大会。

外では男子とお父さん、おじいちゃんが7つの臼で餅をつき、体育館の中では女子とおかあさん、おばあちゃんが丸める。昨年は4俵で6000個つくり、お昼にはそれにあんこやきな粉をまぶしてみんなで食べたり、おみやげにもらった。

また紅白餅のパックを、町内の独居老人70戸のお宅に生徒が手分けして配りに行き、喜んでもらった。

翌日の文化祭では、いつも地域の方に学校を支えてもらっている感謝を込めて、3年生がやぐらの上から餅をまき、小さい子どもからお年寄りまで200人に楽しんでもらった。長方形の餅に食紅で願い事を書いた「手ぬぐい餅」もまいた。

残りの餅米は、生徒が2kgくらいずつ家庭に持ち帰った。砂糖餅にして「学校でつくったんやで〜」と親戚に配ったり、赤飯にして家族みんなで食べたなど、温かい交流の報告も寄せられた。

また餅米30kgを老人施設に進呈し、そのお礼に施設に招待されたりもした。

野菜は、みんなで食べたり、販売したり

はじめての出荷  
「売れるといいね」

学校前の  
無人スタンド



近所のお店



漬け物にもチャレンジ



収穫祭での鍋パーティー



【収穫した野菜の利用】

各自で収穫したら、まず重さを記録する。それから、給食の食材、漬け物づくりに利用したり、学校前に設置した無人スタンドや近くの店に出荷しての販売も体験した。

2月には収穫祭として、授業で焼き芋大会、学年別の鍋大会を楽しんだ。

鍋大会は、野菜販売の収益を使って、ちゃんこ、寄せ鍋など、各グループごとに工夫を凝らした。残りの収益金は社会福祉協議会に寄付した。

●苦労したこと(生徒の感想から)

草取りをしたり、寒い日に水やりしたりと、こんなに大変だとは思っていませんでした。(中略)でも、今年は寒さで難しいと言われていたのに、ブロッコリーの苗から小さなつぼみが出ているのに気づいた時は、とても驚きました。だんだん大きくなって収穫できた時は、本当にうれしかったです。